

会 議 録

会 議 名	令和 7 年度第 1 回小金井市民交流センター運営協議会		
事 務 局	市民部 コミュニティ文化課		
開 催 日 時	令和 7 年 6 月 2 3 日（月） 1 8 時～ 2 0 時		
開 催 場 所	小金井市役所第二庁舎 8 0 1 会議室		
出 席 委 員	小林真理委員長 福沢政雄副委員長 伊東正示委員 遠藤弘委員 亀田奈美子委員 小林勉委員 清水千代子委員 立石訓人委員 中原和樹委員		
欠 席 委 員	なし		
事 務 局	小金井市 コミュニティ文化課長 中川法子 コミュニティ文化課係長 津端友佳理 コミュニティ文化課主任 武田麗子		
オブザーバー	市民交流センター指定管理者 1 野村不動産パートナーズ株式会社 管理二課長 高橋英利 副主任 川瀬大志 2 サントリーパブリシティサービス株式会社 館長 岡本由紀子 支配人 神田守章 部長 福田弘美		
傍 聴 の 可 否	可		
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由		傍聴者数	0 人
会 議 次 第	(1) 委員自己紹介 (2) 委員長、副委員長の互選 (3) 令和 6 年度事業報告について（報告） (4) 令和 7 年度事業の状況について (5) その他		
会 議 結 果	別紙のとおり		
会 議 要 旨	別紙のとおり		

提 出 資 料	(1) 次第書 (2) 令和6年度小金井市民交流センター事業報告書
---------	--------------------------------------

1 議題へ入る前に事務局から説明

- (1) 事前配付資料の確認、当日配付資料の確認を行った。
- (2) 本協議会の根拠規定、所掌事項、指定管理の経過、会議の運営について事務局から説明を行った。

2 委員自己紹介

各委員から自己紹介を行った。

指定管理者及び事務局の自己紹介を行った。

3 委員長、副委員長の互選

小林真理委員が委員長に決定した。

福沢政雄委員が副委員長に決定した。

4 令和6年度事業報告について

冒頭に指定管理者から、令和6年度事業について報告の後、協議した。

- ・委員から、バリアフリーミニコンサートのような取組が増えていけば良いと思う。

他の公演でも、1、2列目を外して車椅子席にする等の取組を検討してはどうか。

小金井市芸術文化振興計画の理想像に「誰もが芸術文化に出会える機会をつくること」というものがあるが、その理念を達成する事業にできたら良いのではという意見

→委員から、鑑賞サポート等を実施し、全ての公演でなるべく多くの選択肢を作るのが社会包摂の1歩だと思うという意見

- ・委員から、リピーターだけではなく初めて来る人達がどの位いるのか、鑑賞はしていないけれど来場している人はどの位いるのか把握したほうが良いという意見
- ・委員から、公演等に来場したお客様がどのような方々なのかを分析し、次に繋げ

られるようになれば良いのでは。施設への意見をもっと汲み上げる仕組みがあると良いという意見

- ・委員から、完売する事業ばかりだけではなく、完売しなくても価値があるという提案もしていただけると面白い。あのホールが選ぶから間違いないだろうというところを目指していただきたいという意見
- ・委員から、マルチパーパススペースの活用率が上がった件について、使ってくださいとPRするだけではなく、共催で行った事業のように、こういう使い方ができるという提案をして、市民の方がこういう風に使うこともできるのだと、表現や展示方法を後押ししているところが良いという意見
- ・委員から、受付カウンターに設置したマルチディスプレイ（座席案内用）について、大ホールは構造上お客様が並ぶのが大変になるため、指定席にすることが多い。利用者もこのシステムを活用できると良いという意見
- ・委員から、インターネット施設予約システムを新たに導入したことについて、新しいシステム導入にあたり、トラブルはあったかという質問
→指定管理者から、説明や対応に時間は要したが、その分利用者様自身で使えるようになり、楽になったというご意見があった。使いにくいというハードルを超えていただけるように環境を整えることが重要と感じたという回答
→委員から、デジタル化にあたってはハレーションがあると思うが、バリアフリー化にも繋がるため、今後も進めてほしいという意見
- ・委員から、大ホールで行った直前割引について、マルチパーパススペースでも試しに使えるような仕組みがあると良いのではという意見
- ・委員から、公式Xで施設の利用方法の提案や事業の裏側等を発信すると新しいファンがつくのではないかという意見
- ・委員から、マルチパーパススペースAの稼働率が低いことについて、料金を下げるとか広報誌にマルチパーパススペースや市民ギャラリーのイベントも掲載することで稼働率が上がるのではないかという意見
→委員から、マルチパーパススペースが暗いという意見

- ・委員から、舞台の技術スタッフは専門業者に委託しているのかという質問
 - 指定管理者から、委託しているという回答
 - 委員から、技術力向上等のため、海外研修等検討してはどうかという意見
- ・委員から、友の会の特典について、充実していると思うが、イベント性やストーリー性を持った特典があっても良いのではという意見
- ・委員から、カスタマーハラスメント研修について質問
 - 指定管理者から、ご本人への対応はもちろん、周りの方が不安に感じられることもあるため、必要な表示もしていくのが良いことを研修で学んだと回答
- ・委員から、主催公演が土曜日が多いため、色々な曜日で実施してほしいという意見
- ・委員から、完売が多いのであればチケット代を上げて良いのではないかという意見。また、自主事業の収支が55%位ということだが、全ての公演で平均的に同じ数値なのかという質問
 - 指定管理者から、事業ごとで分かれている。収入があまり見込めないけれど挑戦する事業もあり、事業内容を重視して実施することもある。その場合、他の事業でバランスを取るようにしていると回答
- ・委員から、公演で他の地域と差別化するような内容を意識しているのかという質問
 - 指定管理者から、公演では、こがねいガラコンサートのように小金井ゆかりのアーティストと一緒にやらせていただいている。共催では、華道、茶道や演劇等の分野において地域で活動されている方と一緒にいる事業が小金井独自のものになる。また、公演アンケート等でこのエリアの方が好む内容を把握し、実施する中で小金井らしさを作っていきたいと回答
 - 委員から、立地的にも需要が高いため、貸館の要望が多いと思うが、この事業であれば自主事業やってもらいたいと思ってもらえるよう頑張してほしいという意見
- ・委員から、子育て世代が鑑賞しやすいように、市内保育園で始めたトワイライト

ステイのような制度と連携しながら、主催公演の時に、子どもを預かってもらえる環境確保を検討していただきたいという意見

5 令和7年度事業について

指定管理者から、令和7年度事業の状況について説明した。

事務局から、令和7年度から光熱水費は市が支払うこととなったと補足説明

- ・委員から、公演事業等について、市報に大きく掲載することはできないのかという質問

→事務局から、他の記事との兼ね合いもあるが、特集号という方法はあると回答

→委員から、市報はどうやって配布しているのかという質問

→事務局から、業者に委託して全戸配布していると回答

→委員から、チラシを新聞より市報に折り込む方が良いのではないかという意見。

→指定管理者から、新聞折り込みも一定の反応があるため、小金井では効果がある。若い方はSNSなどターゲット層別に働きかけをしていきたいと回答

- ・委員から、貸館事業の中で友の会の特典を利用することはできないかという質問

→指定管理者から、コロナ禍前に実施したこともあったが、現在は行っていない。

要望する声もあるため、ご意見を聞いていきたいと回答

6 その他

事務局から、次回の協議会は11月又は12月に行うことを連絡